



Accutase®を使用した標準的な細胞の継代プロトコール

製品名 : Accutase

CATALOG#: AT104

本製品はプロテアーゼ、コラーゲン分解酵素活性をもつ細胞剥離剤です。

標準的な組織培養用プラスチック容器および接着コートされたプラスチック容器からの細胞の剥離に、トリプシンの代わりにルーチンでご使用いただけます。ACCUTASE は哺乳動物、バクテリア由来成分を含みません。

マクロファージ、神経幹細胞、ニューロスフィア培養細胞プロトコールは弊社ウェブサイトからダウンロードしてください。

形 式 : 100 ml ready-to-use 滅菌済凍結液体

品質管理 : 1. USP メンブレン濾過法による滅菌テスト済
2. 組織培養用プラスチック容器からの細胞剥離テスト済

成 分 : 1 × ACCUTASE 酵素を 0.5 mM EDTA・4Na および 3mg/L Phenol Red を含む
Dulbecco's PBS で溶解
(Dulbecco's PBS : KCl 0.2 g/l, KH_2PO_4 0.2 g/l, NaCl 8 g/l, Na_2HPO_4 1.15 g/l)

安 定 性 : -20°Cで安定

各ロットの使用期限をご覧ください。製品到着後、-20°Cで保存してください。

解凍後2ヶ月以内は4°Cで保存可能です。**室温では保存しないでください。**

Accutase、Accumax の正しい解凍方法と保存のためのヒント、は弊社ウェブサイトでもご覧いただけます。

細胞を取り扱う作業は、クリーンベンチ内などの適切な無菌環境で行ってください。

- 使用手順 :**
1. **室温で** ACCUTASE を解凍します。解凍後、使用する直前まで冷蔵庫で保管してください。
 2. 細胞培養フラスコから、すべての培地を注意深く吸引で取り除いて下さい。(PBS のリンスは不要です)
 3. すぐに ACCUTASE をフラスコに加えます。T25 フラスコで 2.5mL から 5mL 加えます。または表面積 75 cm^2 あたり 10 ml、培養用ディッシュまたはフラスコに加えます。この時の量は細胞数や細胞密度によって微調整してください。
 4. フラスコを室温で 5-10 分 (最大で 1 時間) 静置します。このとき細胞の様子を頻繁に倒立顕微鏡で確認してください。細胞が丸くなり、フラスコに張り付いている細胞がなくなっているかどうか、などをチェックします。
 5. 観察中、細胞が球状になったら、フラスコの底を手のひらでたたいて張り付いている細胞を取り除いてください。
 6. 穏やかに細胞をほぐしたら、細胞懸濁液からサンプルをとり細胞カウントを行います。
 7. 新しいフラスコ内の新しい培地に、細胞を適切な量移します。洗浄を繰り返したり、酵素活性の阻害剤を加える必要ありません。継代したフラスコはインキュベーターで培養をはじめてください。